

がんばるバイクショップの 情報マガジン

ヤマハ ニュース

# Yamaha News



特集 ● ビッグスクーターに注目

“快適ジャストサイズ”を売れ!

ハローナイスショップ ● YSP徳山

「売れる店舗」へのリニューアル

YAMAHA NEWSインタビュー①⑦

● 日本赤十字社

かけがえのない命のために

1996 No.394

6

JUN.

オレはオレだ。ひと真似なんてしたくない。ほしいのは、走る場所を選ばずガンガンいける走破性とタフな作りを持ったバイク。「TW」ならサイコーだ。速い、遅いなんてカンケーない。ワケあって武骨、必要以外の飾りもない。そんなヤツだから、オレはホンネで付き合えるんだ。



拝見！ となりのお店

HELLO NICE SHOP

ハローナイスショップ



交差点に面したスペースには、話題のニューモデルを展示。バックスペースは商談カウンターになっているため、仕切りのための壁をあつらえるアイデアも

半円形の特注ガラスを活かしたユニークなディスプレイ。夜間は7台の商品にスポットライトが当てられ、夜空に飛び立つJOGをファンタジックに演出する

YSP徳山

山口県徳山市（山本秀登店長）

# 固定概念にとらわれたい 売れる店舗へのリニューアル

〈AMラジオからFMラジオへ——新しい店づくりへのチャレンジ〉

バイクショップにとっての理想の店舗とは、果たしてどのようなスタイルなのか？ 店主とデザイナーが妥協することなく議論を戦わせ、そこから導いた結論を具現化したYSP徳山さんが、この春リニューアルオープンした。新店舗の設計テーマは「機能的かつ生産性の高い店」。その新しいお店づくりへの過程を探ってみた――。

「まず、3人のスタッフで運営できる『機能的なつくり』であること、そして何より『売れる店』であること。そんな店舗をつくれなものでしょうか？」

お店の前を走る県道の拡幅工事に伴って、店舗のリニューアルを迫られたYSP徳山さん。これを機に、新たなご商売に向けて店舗の新築を決定した山本秀登店長は、設計を担当することになったデザイナーにこんな相談を持ちかけたそう。機能的かつ生産性の高いお店、これぞ究極の店舗である。

しかし依頼した山本店長ご本人は、内心、「そんな都合のいい店ができるはずない」と考えていた。だから、

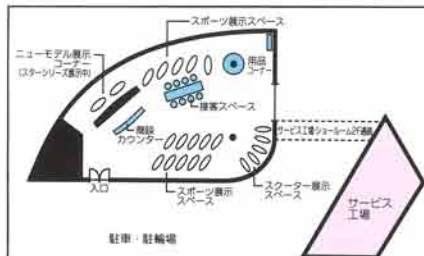




## YSP徳山 山口県徳山市

山口県南部、瀬戸内海西部の徳山湾に面した商工業都市、徳山市に昭和61年9月オープン。店舗前の県道の拡幅工事に伴い、昨年ショールームの建て替え工事に着工、今年3月31日に新装オープンした。スタッフは山本店長以下、営業担当1名、サービス担当1名の合計3名。

拡幅工事の県道



解放感いっぱいのショールーム。左手奥の格子ガラスは開閉が可能で、晴れた日にはオープンテラスのように使われる。「自然の風を感じながら商談するのも、なかなかいいものです」と山本店長



少数精鋭のスタッフ。山本店長（右）はスーツで接客に当たっている。「以前はボロシャツで店に出ていたんですが、ある会社に納車のために訪問した時にネクタイを締めて行ったら、受付の方の対応が普段とは違ったんです。もしかしら、今まで見えなかったところを損をしていたのかもしれない」と思っ、それ以来スーツを着用しています」



アーチ状の2F通路で結ばれたサービス工場。ショールームの商談カウンターと向き合うように設計されている（見取図参照）ため、営業とサービスの担当者が不在の場合も、お互いをフォローできるような配慮されている

床材の切り返し。「オープンスペースを持たない代わりに、ショールームの中に“内”と“外”の概念を持たせています。格子ガラスを解放した時には、木の床材の部分か外の範囲に入ります」とは、設計のプロデューサー



「まず、オープンスペースは必要ないという説明を受けて、納得ができませんでした。それに赤い柱、これにもかなりの抵抗がありましたね。ところが、よく聞いてみるとデザイナーの説明は筋が通っていて、たとえばオープンスペースの問題でも、朝夕の（商品の）出し入れが必要ないとなればかなりの省力化につながる、と。それに表通りからはきれいな店舗がまず見えなくてはいけいんだと力説されまして、なるほどそうかな、と。

赤い柱にしても同じです。自分の頭の中では白か黒、どんなに譲っても青、それ以外は考えられないと抵抗したんですが、シンプルな店舗の中にはアクセントも必要だと言われました。もっとも完成した今となれば、デザイナーの意図もよく理解できますがね」

こうしてでき上がった店舗は、今年3月末にリニューアルオープン。以前の店舗と比較すれば、商売変えをしたような印象さえ受けるおしゃやかなショップに様変わりした。

「確かに見栄えはよくなった。では、当初の目標である『売れる店舗になったのか？』と聞かれれば、それもイエスです。まだオープンして1か月程度なのではっきりとしたことは言えませんが、4月単月を昨年と比較すると売り上げは倍増しましたからね。それに、新規のお客さんがグーンと増えたようにも感じています」

新しい店舗で、新しいご商売をスタートさせたYSP徳山さん。スーツを着て接客に当たるようになった山本店長は、その感触をこう話す。

「今までは、自分の経験や固定観念にとらわれ過ぎていたのかもしれない。バイクショップはこれで正しいんだ、この程度でいいんだというように……。ところが、世の中にはまったく違うスタイルの商売もあつた。遅ればせながら、やっとそれに気がついたわけです。まるでAMラジオからFMラジオに切り替えたような、そんな気持ちですね（笑）」



# 特集 ● ビッグスクーターに注目

# “快適ジャストサイズ”を売れ!



昨年、軽二輪市場に旋風を巻き起こしたマジスティは、小さい、短距離といったスクーターの概念を一気に覆し、“ビッグスクーター”市場の活性化をもたらしました。そういうなかで、ほかにシグナス150/125、アクシス90もラインナップするヤマハは、さらにシグナス125のデラックス仕様「シグナス125D」を追加してクラスの充実化をはかっています。そこで今回は、マジスティを牽引力として着実なシェア拡大が期待されるビッグスクーターの市場性、拡販のポイントを探ってみました。



市場は、軽二、原二とも堅調  
同クラス以上からの  
代替え中心

ここで「ビッグスクーター」と呼ぶのは、原付二種と軽二輪のスクーターのこと。その市場規模を正確に表すにはデータが足りないが、軽二輪のなかでは従来あった他社ブランドに加え、新たにヤマハのマジスティが昨年の年間販売台数でクラス3位を記録。「この勢いは冬場も衰えず、発売以来今年3月までに9500台を出荷」(4/26付・二輪車新聞)する安定した需要を維持している。

さらに、スクーターが半数を占める原付二種は、昨年東京で約1万9500台、大阪でも1万2000台の販売実績を上げ、特に大阪は「スクーターの比率が前年より5%前後アップして全体の60%近い構成比を得た」(1/12付・二輪車新聞)という。

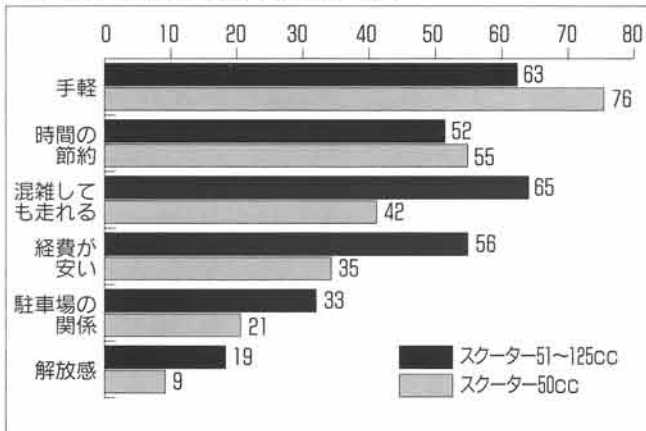
では、今後ビッグスクーター市場がどうなっていくのか、どんな人たちにアプローチすれば良いのかを推し量るため、これまでのユーザー像を見てみたい。

データはすべて(社)日本自動車工業会が'93年に実施したアンケート調査によるもので、ビッグスクーターは51歳〜25歳を指しているが、マジスティ等もほぼ同じような傾向と考えられる。

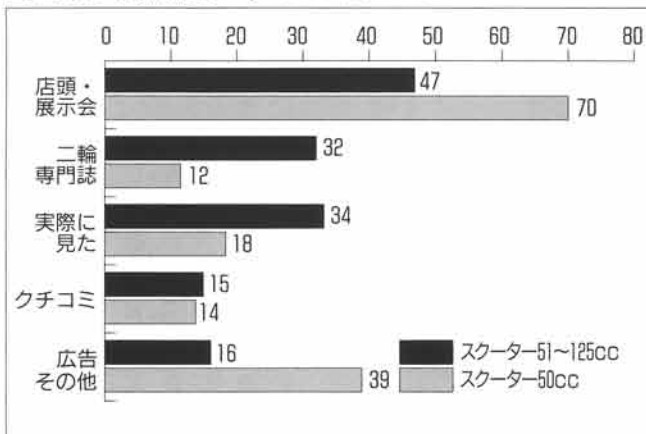
まず需要形態だが、圧倒的に多いのは

# 特集 ビッグスクーターに 注目

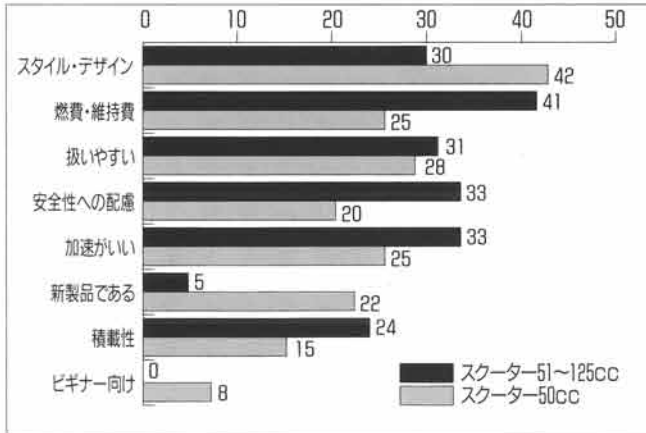
■バイクの使用理由 (複数回答/指数)



■バイクの認知ルート (複数回答/指数)



■車種決定理由 (複数回答/指数)

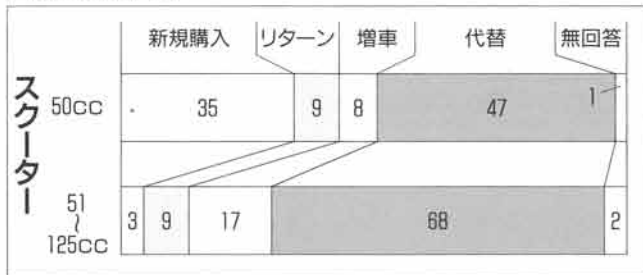


※データはすべて(社)日本自動車工業会'93年調べ

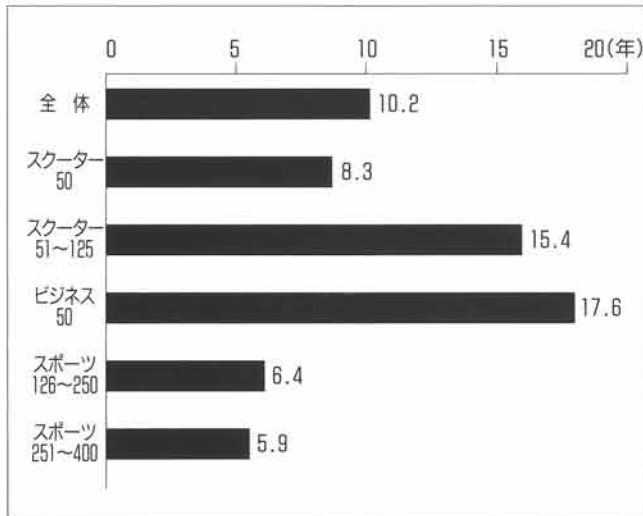
象をクルマに置いているのだろうか。さて、そこから具体的な車種を選ぶにあたって、一番大きな認知ルートは「店頭・展示会」続いて「実際に見た」という答えも多い。また、「二輪専門誌」も意外に(?)よく見られているようだ。バイクへの興味の高さがうかがえる。

車種決定に至る理由になると、一番は「燃費・維持費」。ここでの比較対象はクルマでなく、排気量や同クラスの他車種。次に「運転しやすさ」や「安全性」、「加速性」など実用面が並び、逆に「新機軸」「新製品」ということにはあまり興味を示さず、「ビギナー向け」などは代替ユーザーでなくとも年齢層から判断して、逆に禁句かもしれない。

■需要形態 (%)

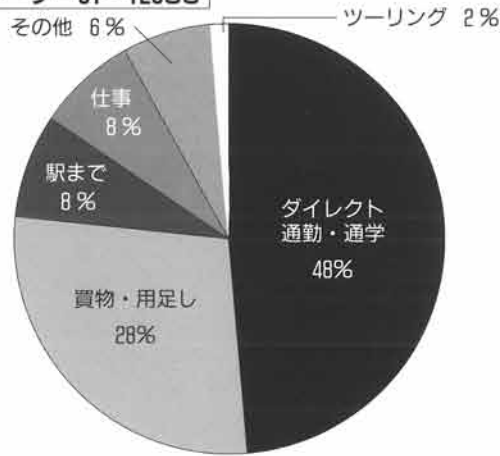


■平均運転歴



■使用用途

スクーター51~125cc



代替えて全体の6割以上を占めている。しかも、タイプ別に見てスクーターユーザーは8割以上がスクーターどうしの乗り換え。排気量別で言えば軽二輪は6割以上、250ccクラスも5割以上が同クラスからの乗り換えで、上の排気量からダウンさせるケースもある。

また、ビッグスクーターの平均運転歴は約15年と、ビジネスに次いで長い。新規、リターン層を掘り起こし顧客化すれば、先々まで代替えが見込める安定ユーザーになり得るわけだ。

では、何をセールスポイントとしてアピールするべきか。使用用途は、やはりダイレクト通勤・通学。ツーリングという回答も少ないながらある。そのなかでビッグスクーターを選んだ理由は、手軽さや混雑している道でも走れるなど50ccと共通する答えが上位を占めているが、「経費がかからない」「駐車場の関係」といった答えに注目すればカギが見えてくる。



# 多様なニーズをつかんで 自在に売り分ける

YSP西新井

(多田芳明社長／東京都足立区)



社長や奥さまをはじめ、スタッフの人柄がソーリングクラブにも反映され、息の長い活発な活動を展開



## 顧客満足度向上のために ビッグスクーターに着目

YSP西新井さんは、東京23区を囲むように走る大動脈・環状7号線のすぐ外側、足立区伊興町にあるお店。表通りからやや離れた住宅街の真ん中に立地しているため、昭和40年の創業当時から徹底した地域密着型の商売を展開してきた。そのため、年間販売台数の8割以上がスクーターやビジネスバイクで、「新聞店やそば屋さんなど、バイクが必

需品というお客さんから商売を広がっていたんです。もちろんスポーツもやりましたけど、信用第一で手堅く商売していくには、生活の道具としてバイクを認めてもらうことが何より大事なことでしたから」と、多田社長は話す。そして、確かな信用を勝ち取るための第一歩は、お客さまのニーズに的確に答える商品を提供すること。「スクーターひとつとってもJOGは機種種じゃないし、ミントやアクシスもある。さらに50ccだけじゃなく、アクシス

90、シグナス125・150、マジエスティまですごく幅広い。この全部を店に並べることはできないけれど、頭の中かならずいつでも必要に応じて取り出せるようにしておけば、同じ通勤・通学、買い物という目的で使うにせよ、免許の種類や走る距離などいろんな条件によっても車種選択の範囲はグッと広がります。それにぴったり合った1台をすすめられれば、お客さんの満足度はずっと高くなるでしょう」

## スクーターユーザーを 排気量で3タイプに大別

そのなかで、多田社長はマジエスティが発売になる以前からビッグスクーターを売り、昨年もマジエスティに偏ることなくアクシス90、JOG90、シグナス125・150を10台前後ずつコンスタントに販売してきた。

しかし、選択肢が広がれば広がるほどどんなタイプの人にとの車種を、どういうセールストークでアドバイスすればいいのか混乱してしまいそうだ。そこで多田社長は、スクーターのお客さまを排気量別に3タイプに分けている。

「50ccをほしいというお客さんで、バイクに対する知識が豊富な人は指名買いがほとんど。逆に知識の少ない人は免許が原付か四輪ですから、どっちの場合もなおに50ccの車種から選んであげればいいんです。

50ccじゃイヤだという20歳代ぐらいの若い人は、二段階右折か30km/hの速度制限が原因。自動二輪の免許を持っていても迷わずJOG90ですね。それ以外ならスポーツバイクでしょう。

ただ、年配の方でビッグスクーターを探している場合は、もっといろいろな要素が入ってきます。多くは代替えのお客さんで、「マジエスティにしたいんだけど、どうかな？」と相談されるから、それにちゃんと答えてあげることがポイントですね」

では具体的に、年配者に対してどういうことが車種選択の決め手になっているのだろうか。

「アクシス90の場合、あくまで50ccの延長線上でとらえられています。走行距離

はあまり変わらず、近距離のダイレクト通勤など。なるべくお金をかけず、二段階右折や速度制限30km/hをクリアできることが一番の理由で、外観もJOGよりオトナ好みですから。台数からいって、ビッグスクーターのなかで一番売れている機種です。

シグナス125は、免許が小型限定でも乗れて、価格的にマジエスティより15万円以上安い。まして、通勤で使うから経費(税金、保険)や車体サイズの面でもマジエスティより実用的。今度のモデル追加は、販促のきっかけになりますよ。150は、125と違って高速に乗れてマジエスティより価格が安いことがメリットでしたね。

マジエスティの場合は、走行性能、スタイル、高級感がほかのビッグスクーターを大きくしのぐ。その分お金もかかるけど、免許やガレージの問題さえなければこれがいいというお客さんがけっこういました。しいていえば、小さくてリーズナブルなシグナスがライバルかも知れませんね。

スポーツバイクとスクーターをつなぐマジエスティ

YSP西新井さんには、創業当初から続いているツーリングクラブ「ブルースカイ」がある。現在は、若いお客さんだけの「ルベルダ」というチームが独立したため、メンバーは全員年配者ばかりで人数も10名に減ってしまった。



商品展示はスクーターを中心に店頭、店内、中二階まで使っただけ豊富にそろえ、カタログもしっかり完備



ところが、毎月第1土曜日にカラオケボックスでミーティング。定例ツーリングも年に6回実施しており、12月から2月までの寒い間とゴールデンウィークのある5月、お盆の8月、雨の日は中止という、いかにもほのぼのした、肩の力が抜けたスタイルが長続きする秘訣だろうか、女性数名を含め、毎回ほぼフルメンバーがそろろう。

所有バイクの大半はXJR1200、

VMAX、ビラーゴ1100などリッターオーパーバイクだが、マジエスティも2台ある。

「ウチのクラブは昔から250や125のスクーターが多かったんです。ただ最近はずーと高速度を使うので、シグナスでは無理だし、他社の250でも横風に弱くて辛かったんですが、マジエスティに乗り換えたお客さんはみんな「安定感があるし、すごくラクチンだ」なん

て喜んでくれて。私も、最近では試乗車に下ろしたマジエスティで参加してるんですよ」と多田社長は笑う。

まるで「週末はバイク人」を地で行くような話だが、こういう活動がこれからも続く限り、ビッグスクーターは単なる生活の足ではなく、スポーツの楽しみさえも味わえる一台として、新しいアプローチの道を確立していくかもしれない。

# スポーツ販売で培った ステップアップ商法を！

YSP広島南  
(蒲地毅社長／広島市南区)

## マジエステイの一日レンタル 「使ってもらって拡販に成功

「今、うちの主力商品はナニ？」と聞かれたら、間違いなくマジエステイと答えますね。台数的にも一番出てるし、マジエステイによって客層もずいぶん広がっていますから……」

広島市南区。国道2号線沿いの市街地のド真ん中で、商売される同店にとって、250ccクラスのスクーターは「あれば売れる商材」だった。2号線を他社のビッグスクーターで通勤するビジネスマンの姿を見ながら、蒲地社長はヤマハの250を心待ちにしていたという。

「それだけにマジエステイの発売は嬉しかったです。モノ自体も納得できるいい商品だった。久しぶりに、これは売れる、売らなきゃイヤカン」という気になりましたね」と振り返る。

ただ、商品力と好立地にまかせて、何もせずに待ちの商売をしているわけではない。結果として数は出ているが、それも日々の地道な活動の賜物だという。

「まず、発売してすぐに全色を揃えまして、これは表通りにアピールすること、カラーの要望に即応するためです。それと同時に試乗車については、じっくり使ってもらうために一日レンタル制度を実施しました。ちょこっと走っただけ

マジエステイのよきはわからないでしょうから、実際の使用用途に合わせて使ってもらおうというわけなんです」

同店の行なう一日レンタル制度とは、会社帰りのビジネスマンに試乗車を貸し出し、翌日の会社帰りに返却してもらうシステムのこと。こうすることで自宅や会社の駐輪場実際に停めてみたり、いつもの通勤時間帯の中でマジエステイの機動力を体感してもらえらという。その成果は？ というところ、従来の試乗システムとは比較にならないほど成約率が高い」そうだ。

「モノは気に入ったけれど、車格が大き過ぎる」というお客さまも少なくない。二の手の手としてミドルクラスのスクーターを勧めるためには、試乗後の話し込みが大切

## 代替からリターン、新規へ 客層の変化にラインナップで対応

さて、このような拡販策で成功を収めている同店だが、実際に試乗しているお客さまはどのような客層なのだろう？

「今年の春先までは、圧倒的に他社のビッグスクーター・ユーザーが多いようでした。代替時期を迎えていたり、それまで乗っていた愛車に不満を持っていたりするお客さんが試乗に来ていました。こうしたお客さんの中には、今まで50キロ先の得意先にはクルマを使っていたんだけど、マジエステイなら行く気になるね」なんて褒めてくれた方もいます。

それに対して春以降は、代替のお客さんよりリターンの人の来店が増えています。これは街の中でマジエステイを見かけるようになったのが原因だと思えますが、店としては嬉しい傾向です」

と話す蒲地社長の言葉どおり、代替層からリターン、増車、そして新規へという流れは、広島ばかりではなく全国的な現象。ビッグスクーターの市場はますます拡大の傾向を見せている。

ところが、こうしたお客さまは代替ユーザーより成約率が低いようだ。「最近多いのが、商品そのものは気に入ったけれど、想像していたより大きかった。うちの車庫には入らない」という声です。たしかに車格の大きなマジエステイには、駐輪場の問題は付きまといまからね」

そんな時にはダウンサイジングされた第2の提案が生まれてくる。90cc、125cc、そして150ccと、ラインナップされたビッグスクーター群がオススメできるといわけだ。「店としても90、125





# ビッグスクーターに 注目

「うちは、スポーツバイクのお客さんを増やすために、お客さん自身のステップアップを増進してきた経緯があるんです。YSR50のお客さんを125へ、その次は250、そして400、最後はオーバー750へと……。代替のたびにワンクラス上の商品を勧めることで、販売を上げてきたわけです。そのノウハウをぜひスクーターで活かしてみたい。スポーツバイクでできたことがスクーターでできないはずがないですからね」

## ビッグスクーターの充実が 商売の効率化をもたらす理由

「では90ccや125ccのミドルスクーターが、なぜ『店にとって売りたい商品』なのか？」

90、125クラスの商品が充実すれば、原付からマジエスティへとつなぐ流れができるという蒲地社長。さらにスクーターのお客さまにステップアップの構図ができれば、商売そのものの効率化も急速に進むと断言する。

「ミドルクラスのスクーターは、当然、原付より耐久性も高いわけで、ヘンな言い方ですけど、店にとっては手間のかわらない商品なんです。たとえば、現在50ccスクーターに乗っている何パーセントかのお客さんが125に乗り換えたと思ったら、商売の効率はかなりよくなると思います。しかも、その後はマジエスティまでつなげられるとなると、やはり125あたりのクラスを一生懸命に売っていきたくですね」と話す。

モデル追加したシグナス125Dの発売は6月20日。この新商品がミドルクラスの起爆材となりそうだ。



マジエスティの一日レンタルシステムを使い、実際に通勤を試みるお客さま。中には約250キロのツーリングに出かけ、スポーツバイクから乗り換えたお客さまもいる



国道2号線に向けた「試乗会実施中」のノボリ。通勤途中の飛び込みも多い



「スポーツバイクと同じように、ステップアップをキーワードにしたスクーターの商売を実現させたい」と、蒲地社長



日本赤十字社



TALK

村瀬吉隆さん (写真左)

[日本赤十字社東京支部 事業部普及課長]

宮崎明浩さん (写真右)

[日本赤十字社東京支部 事業部普及課安全係長]

日本赤十字社

1863年イタリア統一戦争時に傷病者の救護にあたったスイス人、アンリー・デュナンが発意によって生まれた世界的な救護団体。日本においては、1877年の西南戦争をきっかけに設立された「博愛社」が前身。1997年「日本赤十字社」と改め、国際赤十字の仲間入りを果たす。「人道的立場に立ち、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減する」目的で、災害救護事業、医療事業、国際活動、血液事業など様々な活動を展開している。

かけがえのない

命のために



人命救助の際にもっとも重要なのは？

「心肺停止から、人工呼吸など応急処置を施すまでの時間による救命率は、2分後では90%と高いのですが、4分後で50%、5分後では25%と激減してしまいます。

都内では、通報から救急車が現場に到着するまでの時間は平均約5分。その間、いかに適切な応急処置ができるかが、生存率を大きく左右するのです。

救急法の講習では、傷病者を正しく救助して、医師や救急隊員などに渡すまでの応急手当をお教えしています。

人工呼吸や心臓マッサージといった心肺蘇生法や包帯の巻き方など、緊急時に適切な手当ができるよう正しい知識と技術を身につけていただくためのものです」(村瀬氏)

万一、自分が交通事故の現場に遭遇してしまった場合には、どのように対処したらよいですか？」

「何よりも人命を助けることを優先して考えてください。そして、交通事故を防ぐために、他の通行車両に注意を促します。それから、傷病者が動かせないように安全な場所に移動し、状況に応じた手当を行なっていきます。

「天恵の4分間」という言葉をどこに存じだろ。心肺が停止してから生還できる可能性は、4分間で約50%。その後1分刻みで可能性は半減していく。万一の際に、与えられたわずかな時間にどのように状況を判断し、どのような処置をすればよいのか。事故や自然災害時などの危機管理が懸念される現代、果たして個人は何ができるのか？ あらゆる状況に対応できる人命救助のための講習会を行なっている日本赤十字社にお話を伺った。





東京支部で救急法の講習を受けた人は、短期講習を含めると年間で1万人を超える。受講者は圧倒的に若者の姿が目立つ。受講の動機は「福祉活動の中で必要!」「スポーツインストラクターになるため」「地域活動に役立てたい」などさまざま

救急法の講習会はどのような内容  
になっているのでしょうか?

「一般の講習は、検定も含めて全部で24時間。具体的には、救急法の概論から心肺蘇生法、傷と止血、包帯、骨折・脱臼・捻挫、急病、運搬、救護まで。人命救助に関わるあらゆる場面に対処できるように想定されていますから、範囲も広いです。

自分自身で包帯を巻いたりしながら覚えていくことが大切なので、講義と実技のうち比率は1対2です。最後に行なわれる検定に合格された方には、修了証と合格証を発行しています。

また、団体や企業などから依頼されて行なう短期講習もあって、こちらは工場内での事故防止や交通事故の対策など目的がはっきりしていますので、内容も最初からの絞っています」(宮崎氏)

お話を伺って、改めて救急法の必要性と重要性を感じます。

「救急法を知っていたおかげで助かった」という声がたくさん届いています。実践で役立てるためには、やはり総合的な知識と経験が求められるんです。それに、事故の怖さも理解できるから、慎重になりますよ」(宮崎氏)

「アウトドアブームで野外遊びの機会も多くなり、事故に遭遇する場面というのは増えているのではないのでしょうか。オートバイに乗る方にしても、交通事故にとどまらず、ツーリング先で遊んでいる場合に遭遇する事故もあるでしょう。救急法の知識は、あらゆる場面で応用できるものなんです」(村瀬氏)

もちろん周りに協力者がいれば、すぐに救急車や警察に連絡してもらおうといったことも必要です。人命に関わることですから、1分1秒を争う中でこれらすべてに正しい判断を下して適切な処置を施さなければなりません」(村瀬氏)

「事故という」と「まず救急車を!」  
と書いてありますが……

「もちろんそれも重要ですが、それだけでなく、総合的な状況判断ができるかどうかが非常に大切なんです。しかし、この状況判断というのが非常に難しい。ひとことで《事故》と言ってもケースはさまざまですから。

例えば山の中で、周りに自分しかない場合はどうすればいいか、高速道路ではどうか。さらには傷病者の状況によって、処置方法も変わってくる。考えたらきりがなくらい、実にケース・バイ・ケースなんです。

それに皆さん、言葉や断片的な知識としては人工呼吸や心臓マッサージなどもご存じだと思うのですが、いざ傷病者を目の前にして手を出せるかというと、難しいのではないのでしょうか。こんなとき救急法の講習を受けて一度でも経験していれば、慌てず、自信を持って対処できるようになります」(宮崎氏)

## INFORMATION

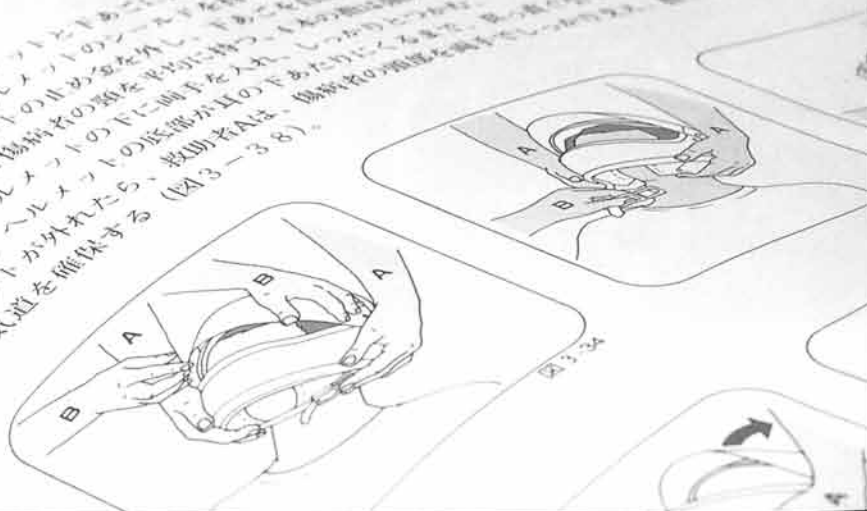
救急法講習会の問い合わせ先

日本赤十字社東京都支部  
東京都新宿区大久保1-2-15

☎03-5273-6741~8

●短期講習は随時受け付け。

●東京都支部以外の各道府県支部でも講習会が開催されている。





FROM SERVICE

サービス技術アップにご活用ください  
定番『ヤマハ二輪車整備士講習会』

ボーンズ前後などの需要期に合わせて企画する拡販セール、キャンペーンは、日ごろお客さま満足度が高ければ高いほど大きな効果を発揮します。

そして、その満足度を左右するのがアフターサービス。お店にとってなんの造作もないようなことでも、お客さまにしてみれば一大事ということがよくあります。誠心誠意、心を込めた接客態度と確かな技術力で満足度を高め、揺るぎない信頼関係を築きましょう。

そのために、ぜひ活用いただきたいのが『ヤマハ二輪車整備士講習会』です。経験の浅いサービスマンはもちろん、現役バリバリ、ベテランの方までそれぞれのレベルに応じたクラスがあり、基本を大切にしながらキリウムで、正しい知識と技術を養成します。初心を忘れず、新鮮な気持ちで

お客さまと接するためにも積極的にご参加ください。



FROM MOTORSPORTS

ヤマハ契約ライダーが指導！  
速さの秘訣を基礎から学べる  
TZレーシングスクール開催

これからレーシングライダーをめざそうとする、ビギナー対象の講習会が「TZ入門レーシングスクール」です。スポーツランドSUGOを会場に、校長の平忠彦さん、チーフインストラクターの茨木繁選手が直接指導。まだマシンを持っていない人でもTZ125をレンタルしますので、ふるってご参加をおすすめください。

また、鈴鹿4時間耐久レースに出場する選手対象の走行会を、鈴鹿サーキットで行います。合わせてご案内ください。

■TZ入門レーシングスクール

日程：6月17日・10月21日(1日コース)  
8月19日・20日(2日コース)  
参加資格：原付以上の免許所有者  
参加費：会宿・35000円  
1日・20000円  
申込・問合せ：SUGOレーシングスクール  
(☎0224-833127)  
■鈴鹿4時間耐久レース走行会  
日程：7月15日  
参加費：8000円(YESS6000円)  
申込・問合せ：ベルシステム24・R.S.S事務局  
(☎0120-545666)

FROM Y.E.S.S.

「週末はバイクで遊ぼう」と  
盛りだくさんのイベントを用意！  
ドシドシ参加をおすすめください

バイクの楽しみ方には、磨き込んでドレスアップしたり、年代物の1台をレストアしたり、あるいはモータースポーツを観戦したり、さまざまな方法があります。

しかし、バイクはあくまで乗り物。一番楽しいのはやはり乗って走らせること。野山を駆け、旅をして、仲間と語り合うところ、バイクの醍醐味といえるでしょう。

ところが、忙しい毎日、バイク以外にも楽しいことがあふれている現在、せっかくバイクを持っていないがなかなか十分に走らせるチャンスを見つけれなかったり、自

分だけではうまく楽しめなかつたりするライダーが多いのも事実。それをサポートしてあげることが、お店にとって大切なアフターサービスのひとつとなっています。

そこで、ヤマハもYES.Sを通じてお客さまやお店をバックアップ。特に今シーズンは「週末はバイク人」を合言葉に遊びの提供を強化。バイクとともに過ごす週末、休日のすばらしさをアピールしたいと考えています。

各販売会社、営業所あるいは各メーカーが連携した楽しいイベントをたくさん用意

■ヤマハ二輪車整備講習会

	6月	7月
北海道		B盛岡 B青森 B釧路
東北	B仙台	
東京	B春日部・西東京 B甲府・松本 M東東京 M日曜日 B神奈川・千葉 11~13 18~20 25~27	M春日部 B神奈川 M神奈川 3~5 16~18
中部	B岡崎 B名古屋 M愛知 18~20	D本社 M 10~12 3~5
関西	B北 B和歌山 M 19~21	
中国	M岡山 11~13	
四国		B徳島
九州	B熊本 B大分 M 25~27	B福岡

※B/ベイスン、M/マスター、D/ドクター ※都合により開催変更および中止となる場合があります。また、日程のないものなど、詳しくはヤマハの各担当営業所へお問い合わせください。

FROM SALES

あなたの「週末バイクライフ」懸賞  
多数のご応募ありがとうございました

ヤマハでは、この春から「週末はバイクに乗ろう」と呼びかける「週末はバイク人」キャンペーンを展開。その一貫として、バイクと一緒に過ごす週末を自由な方法で夢いっぱい表現していただくという「週末バイクライフ懸賞」の募集を行なってきましたが、おかげさまでたくさんの方が寄せられました。

5月31日が締切りのため、全体の応募状況はまだ集計できていませんが、5月18日の時点で応募総数は合計約1116件。さらに応募者の年齢層を見ると、30歳前後と40歳前後を中心に15歳から60歳半ばまで大きなボリュームゾーンがあり、女性も3割以上を占めています。

週末はバイク人

このことから、「週末はバイク人」キャンペーンがいかにかたくさんの方の、幅広い人々に認知され、共感を得ているのかがおわかりいただけるかと思えます。

これをきっかけとして、ヤマハへのバイクに関する問合せも急増しており、需要創造の意味で大変効果的な活動といえるでしょう。今後、秋までのレジャーシーズンを通して、さらに継続的な告知イベントでキャンペーンを盛り上げていきますので、みなさんの店頭でもよろしくご協力、ご活用ほどお願いいたします。

していただきますので、ぜひお店のプレイメニューのひとつとして積極的にご活用、ご参加ください。なお、内容や日程などは、地域によって異なります。詳しくは担当のヤマハセールスにおたずねください。



## これぞアメリカン・クルーザーだ! 『ロイヤルスター』プレス試乗会開催

400ccのドラッグスターに続く、ヤマハ・スターシリーズのフラッグシップモデル『ロイヤルスター』。そのプレス向け試乗会が、4月11日〜12日、山梨県富士吉田市のホテルハイランドリゾートで行なわれました。

一足早くアメリカで発表、発売して大きな反響を呼んでいるモデルだけに、参加したジャーナリストたちは注意深く、熱心に技術説明に聞き入り、興味津々たる面持ちで試乗に臨みました。

当日は季節はずれの雪が残るあいにくのコンディション。それでも、試乗後の感想を尋ねると、たくさんの方が「適度な鼓動とスムーズさを兼ね備えたエンジン。まるでバラグライダーで空を飛んでいるよう」

「高級感があり所有欲を満たしてくれる1台だ」「重たそうなのにヤマハらしい曲がり方をする。よくまとまったハンドリング」



「男30歳を過ぎたら、ロイヤルスターで堂々と走るべき」と絶賛する声も……

など、さまざまな点で高い評価を受けていました。これらの詳しい内容は、5月1日以降発売の専門誌各誌に掲載されています。

## 話題のファンタジック・ラブストーリー 『7月7日、晴れ』でセローが 親月ありさ・萩原聖人と共演

主演・親月ありさ・萩原聖人、音楽担当・DREAMS COME TRUEという、今もっとも注目されているスターどうしのキャストで製作された映画『7月7日、晴れ』。

5月11日から東宝系の劇場で全国公開される『ヒーローインタビュー』や『バースデイプレゼント』を超える新しいデパートムービーとして若者たちの話題を集めている作品ですが、そのなかでヤマハ「セロー」も主人公・山部健太（萩原）の相棒として登場。健太とヒロインの望月ひなた（親月）を乗せて、山々を駆けめぐります。アウトドアが趣味の平凡な会社員・健太



が、ある時山奥の深流で有名なミュージシャン・ひなたと出会い、彼女の誕生日である

七夕の夜に満天の天の川をプレゼントしようとする。しかし、ふたりのあいだに大事件が巻き起こり、恋は行きつ戻りつなかなか進まない……。そんなストーリーを、全編に流れるドリカム・サウンドと詩情豊かな美しい映像が盛り上げています。今年の七夕は、セローとともに素敵な夢をどうぞ。



出演：親月ありさ、萩原聖人、田中律子、榎原利彦、うじきつよし、伊武雅刀ほか

## LOCAL TOPICS

### 新二輪免許制度に向けて手応え上々! “大型”の魅力をつつり満喫した 『Big Bikeライディングフェスタ』

このたびの二輪免許取得制度改正は、お客様のビッグバイクに対する興味を再び大きく高めつつあります。



特人気が高かったのはスポーツバイク試乗会とビッグバイク乗り方講習会



会場では、ニューモデルの展示やオークション、用品処分市なども行なわれた

そこで、大阪のYSP阪奈さんは近隣の他メーカー系列店と合同で自動車教習所を借りきり、4月21日、『ビッグバイク・ライディングフェスタ』というイベントを開催しました。

これは、レジャーシーズン到来に合わせてスポーツバイクの需要拡大をはかるとともに、大型二輪免許取得のきっかけづくりにも、大型二輪免許取得のきっかけづくりにも、大会場となった阪奈自動車教習所には約1000名のライダーが詰めかけました。

なかでも好評だったのはスポーツバイク試乗会。ヤマハのXR400R IIやドラッグスター、マジエスティ、TRX850など人気モデルがスラリとカオをそろえ、用意した試乗申込書200枚がわずか1時間半で底をつくほどでした。

また、教習所のコースをそのまま利用した大型バイク乗り方講習会にも180名が参加。今後、大型バイクブームの到来を予感させる人気ぶり、主催者の方たちはうれしい悲鳴を上げていました。

## CRANK CASE 町で聞いた ちよつといい話

### “常識”の ウラを狙え

神奈川県『YOU SHOP湘南ライフタウン』さんは、前号の特集でもご紹介したとおり、大規模な埋地のショッピングセンターにテナントとして入っているお店だ。そのため、開店時間や休業日も勝手に決められず、1年で22日間しか休みがない。宮嶋秋男社長は「盆も正月もない」と苦笑いしているが、「おかげで意外な穴場、稼ぎ時があるのに気がついた」そうだ。

「例えばね、正月は2日から初売りなので、どうせバイクなんか売れないだろうと思って店を開けなきゃいけないんだよ。ところが、開ければ意外に売れるんだ。特に高校生あたりが多いな。自分でお年玉握ってきたり、おじいちゃんやおばあちゃんか孫と一緒に来て、入学祝いに買ってあげたりするんだよ」

お盆の頃も同様だ。「このあたりの埋地は、いわゆる核家族ばかりだから、お盆や正月になると半分くらいは帰省でいなくなっちゃうんだけど、残りは逆におじいちゃんたちが田舎から遊びにくるんだよ。それで、めったに孫に会えない分、この時ばかりはといろいろプレゼントしてあげたくなるだろうね」

もちろん、この話がすべての埋地に当てはまるわけではないが、常識の盲点ということもある。市場環境、商圏特性の変化に気づいていないだけかもしれない。盆や正月の営業に限らず、ダメでもともと、何かひとつ今までやっていなかったことを試してみてもはどうだろう。



SPORTS TOPICS

ジュビロ4位でリーグ前半戦折り返し  
ナビスコカップでの活躍にも期待!

5月18日、Jリーグは前半の15節を終了。8月28日の後半戦再開まで長いインターバルに入りました。

ジュビロ磐田は、この前半戦、スペクタクルなアクションサッカーで常に上位をキープ。しかし、勝てば首位に上がるという4月20日のセレッソ戦、5月1日のフリューゲルス戦にいずれも逆転負け。勝負どころでもう一步乗り越えられない壁の前に、首位を奪えませんでした。

そして、フリューゲルスに勝ち点2差の2位で迎えた5月15日、対ベルマルレ戦。ジュビロは中山を欠きながら、スキラッチ&武田の2トップで臨みます。



右のウィングとフォワード。武田は二足のわらじで大活躍

にもハットトリックを許して4対3。この日首位フリューゲルスが破れただけに、まとも惜しい星を落としました。



首位戦線に挑むジュビロ。武田は二足のわらじで大活躍

首位戦線に挑むジュビロにはあふれている。しかも、序盤戦の好調を支えてきた選手たちにやや疲れが目立ち始めていたジュビロは、前半戦最後のレイソル戦にも4対0で敗れ、10勝5敗・勝ち点31の4位。6月からはナビスコカップが開幕しますが、ここで心機一転、気持ちを建て直して初タイトル獲得に臨んでほしいものです。

RACING TOPICS

エドワーズが今季初表彰台を獲得  
WSBランキング6位にアツプ

ついに3位表彰台を獲得したエドワーズ。次の目標は優勝だ。

4月7日、サンマリノで幕を開けたスーパーバイク世界選手権シリーズ。今年のヤマハは、2年目のC・エドワーズと初参戦の吉川和多留がファクトリーチームで出場しています。

開幕戦、スタートから続く競り合いの激しさに驚いたという吉川は、第2戦イギリスでも集団から抜けきれず、なかなか上位進出を果たせません。

そして、5月12日の第3戦ドイツではコーナーリング中にアクセルを開け過ぎて、ハイサイド、転倒。「右手から地面に落ちた時、骨折してしまいました。自分に対して怒りがおさまらない。悔しい」と語り、新たな

闘志をみなぎらせていました。

一方、開幕戦11位・7位、第2戦6位・4位とレースごとに順位を上げたエドワーズは、第3戦の第1ヒート、序盤からクラフアと激しく争います。その後、トップグループにいたコルサーがリタイアすると、エドワーズは3位に浮上。そのままクラファアを抑えきり、初の表彰台をゲットしました。さらに、第2ヒートも5位に入ったエドワーズは、ランキング6位を獲得。

「3位は運が良かっただけ。でもポイントを少しでも多く取ることができたら、満足しているよ。毎回着実に成績が上がってきてるし、調子も悪くない。次のモントリアが楽しみだね」と語りました。

8月にはSUGOで第10戦が開催されるWSB。ヤマハ勢の活躍に期待がされます。

六月(水無月)

こどもみ

暦のうえで6月11日は入梅、21日には夏至を迎え、気がつけば季節はもう夏です。

しばらく続く長雨を覚悟しなければなりません。サラリーマンにとっては待望のボーナスでフットコが潤う時期でもあります。お金はあるけれど雨で出かかれずウズウズしている時に、タイミング良く誘いかければ、案外大きな旅費チャンスをつかめるかも。店内や室内でやれるイベントを考えてみては?

- 6月・7月の行事・祝祭日
- 6月16日(日)・・・父の日
- 6月21日(金)・・・夏至

MARINE TOPICS

『海からみよう!日本』キャンペーン  
ヨットで日本一周4000マイル  
海から日本を見つめる旅が始まった

7月20日が「海の日」として国民の休日に制定された今年、「海から日本を見渡して、もう一度その自然や文化を見つめ直してみよう」という「海から見よう!日本」キャンペーンがスタートしました。

これは、アメリカ杯・ニッポンチャレンジの艇長を務めた南波誠さん(写真)らが発起人となって進めているもので、「うみまる」と名付けたヨットで日本をぐるり1周、7400kmの航海を続けながら、海洋学者ジャック・マイヨールやラリードライバー篠塚健次郎、モータージャーナリスト内田正洋ほか各界著名名人をゲストに迎えてデイスカッションしていきます。

5月11日、横浜を出発した「うみまる」は、そのまま北上して6月初旬には北海道の小樽を回り、日本海沿岸を九州に向けて南下。その後沖縄を回って7月19日には再び横浜へ帰還する予定ですが、この間のさまざまな情報はインターネットを通じ

- 7月1日(月)・・・半夏生
- 7月7日(日)・・・七夕、小暑
- 7月15日(月)・・・ぼん
- 7月20日(日)・・・海の日
- 7月22日(月)・・・大暑
- 7月27日(土)・・・土用の丑

- 6月・7月の大安
- 6月/5日(水)・11日(火)・16日(日)・22日(土)・28日(金)・7月/4日(木)・10日(水)・21日(日)・27日(土)
- セール、イベントのキーワード例
- 「夏まつり見物ツーリング」
- 「海で遊ぼう!ツーリング」
- 「父の日・ボーナスセール」(お父さん本人やお父さん同伴のお客さまに、お店からプレゼント)

て発信。みなさんが直接アクセスすることも可能(ホームページは<http://www.flex.co.jp/umimaru>)で、それぞれの寄港地では写真家・添畑薫の作品スライドショーや南波誠講演会なども予定しています。



# WGPもヨーロッパパワフルに突入 原田ランキング2位、阿部は4位

4月の日本GPで華々しいGP初優勝を飾り、日本中のレースファンを驚かせた阿部典史。その勢いをそのままヨーロッパラウンドへ持ち込みたいところだったが、5月12日の第4戦スペインGPではマシンのセットアップに手こずり、予選16位と大きく出遅れてしまっています。

しかし、鈴鹿でも11位からトップに躍り出たように、決勝は1周目からすばらしい追い上げを見せ、瞬間に9位へ浮上。さらに上位集団に迫るかと思われましたが、2周目のヘアピンで転倒。残念なポイントを下し、ランキング4位に後退してしまいました。

それでも、残るL・カヒロッシ、J・M・バイル、K・ロバーツJrがよく追い上げ、4位、6位、7位でフィニッシュ。4戦すべてでポイントを取っているバイルはランキング7位につけました。

また、250ccの原田は予選2目目に転倒し、6番手スタート。8周目で2位まで浮上しますが、トップのピアッツには届かず、2位でフィニッシュしました。

「転倒でケガをしたことより、失った時間の方が問題だった。タイヤのチョイスやセッティングを十分詰めることができなかったからね。それだけでなく今日のピアッツは速かったし。でも次はボクの番ですよ」

## レースカレンダー(6月~7月)

月	日	世界選手権						全日本選手権			AMA選手権		
		F1	RR	ED	SB	125MX	250MX	500MX	RR	MX	TR	SX	NX
6	2	②スペイン				⑥インドネシア	⑦スウェーデン	⑤スロバキア					
	9	⑤フランス							④鈴鹿200km	⑤SUGO			
	16	⑧カナダ			④イタリア	⑦フランス	⑧フィンランド	⑥オランダ				⑤バリスクリーフ	
	23					⑧イギリス	⑨イギリス				⑤富士	⑥サウスウェイク	
7	30	⑨フランス	⑦29日オランダ		⑤チェコ			⑦チェコ					
	7	⑧ドイツ				⑨ベルギー			⑥SUGO	⑤北海道		⑦ブキャナン	
	14	⑩イギリス	③ベルギー			⑨スロベニア	⑩ベネズエラ					⑧ニューベルリン	
	21		⑨イギリス		⑥アメリカ			⑧アイルランド		⑦若手 沢		⑧ニューベルリン	
28	⑩ドイツ		④鈴鹿8H		①⑩チェコ		⑩サンマリノ				⑤トロイ		



## バルトリーニ、デマリア、キオーデイ そろってWMX250トップ10キープ

世界選手権モトクロス250は、5月5日のイタリアGPで5戦を終了。ヤマハファクトリーのA・バルトリーニとY・デマリア、A・キオーデイの3人は、それぞれ好不調の波さえなければ、速さは折り紙付きのデマリア

6位、9位、10位につけています。

なかでも、開幕戦の第1ヒートでいきなり2位に入ったバルトリーニは、第2戦オランダGPで1ヒートを落とししたものの、その後すべてのレースで着実にポイントを重ねてきました。

一方、第2戦までの4ヒートでわずか12ポイントしか獲得できなかったデマリアですが、第3戦ドイツGP以降ポーランド、イタリアと3戦連続で3位をゲット。今後完走率を高めていけば、十分上位進出が可能なポジションにはなっています。

キオーデイは、デマリアほどイタリアが多くありませんが、着順に恵まれず低迷。なかなか上位に食い込むことができませんでしたが、しかし、第5戦、イタリアGPの第2ヒートで待望の3位。

「ボクにとって、この表彰台がとても重要だった」と語ったように、これが今後大きな飛躍のきっかけとなりそうです。



日本GPでは、トップに迫る寸前で転倒を喫した原田。これからの巻き返しに期待したい。

## RACE RESULTS

### (AMA・SX250)

第12戦/ボンティアック(4月13日)

- ①マクグラス ホンダ
  - ②エミグ カワサキ
  - ③ラスク スズキ
  - ⑦ヘンリー ヤマハ
- 第13戦/シャロット(4月20日)
- ①マクグラス ホンダ
  - ②ワード ホンダ
  - ③ウィングダム ヤマハ
  - ⑤ヘンリー ヤマハ
  - ⑧ブラッドショー ヤマハ
  - ⑨プットン ヤマハ
- 第14戦/セントルイス(4月27日)
- ①エミグ カワサキ
  - ②マクグラス ホンダ
  - ③ラロック スズキ
  - ⑧ブラッドショー ヤマハ
  - ⑨プットン ヤマハ

### (AMA・SX125)

- 東第9戦/ボンティアック(4月13日)
  - ①ダウド ヤマハ
  - ②ピジョン カワサキ
  - ③ラムゼイ スズキ
- 東第10戦/シャロット(4月20日)
- ①ピジョン カワサキ
  - ②ダウド ヤマハ
  - ③スカグス カワサキ
- 東第11戦/西第7戦/セントルイス(4月27日)
- ①ウィングダム ヤマハ
  - ②ドップ ヤマハ
  - ③ラムゼイ スズキ
  - ⑤ダウド ヤマハ
  - ⑥ケニー ヤマハ

### (AMA・NX)

第2戦/サクラメント(5月5日)

### (250)

- ①マクグラス ホンダ
  - ②エミグ カワサキ
  - ③ラロック スズキ
  - ⑦ルイス ヤマハ
  - ⑧プットン ヤマハ
  - ⑨ブラッドショー ヤマハ
  - ⑩ルイス ヤマハ
  - ⑤ヘンリー ヤマハ
- (125)
- ①ウィングダム ヤマハ
  - ②ダウド ヤマハ
  - ③ラムゼイ ホンダ
- (全日本RR)
- 第2戦/SUGO(4月28日)
- (SB)
- ①芳賀紀行 ヤマハ
  - ②柳川明 カワサキ
  - ③青木拓磨 ホンダ
  - ④藤原儀彦 ヤマハ
- (250)
- ①加藤大治郎 ホンダ
  - ②沼田憲保 スズキ
  - ③芳賀健輔 ヤマハ
  - ④本間利彦 ヤマハ

### ①小澤敏明

- ホンダ
  - ②高尾和弘 ホンダ
  - ③稲毛田潤 (全日本MX)
- 第2戦/名阪(4月14日)
- (250・ヒート1)
- ①マタセビッチ カワサキ
  - ②ティチナー スズキ
  - ③元木龍幸 ホンダ
  - ④鈴木健二 ヤマハ
- (250・ヒート2)
- ①ティチナー スズキ
  - ②マタセビッチ カワサキ
  - ③元木龍幸 ホンダ
  - ④田島久 ヤマハ
- 第3戦/九州(4月28日)
- (250・ヒート1)
- ①マタセビッチ カワサキ
  - ②ティチナー スズキ
  - ③元木龍幸 ヤマハ
  - ④カビロッシ ヤマハ
  - ⑤上田昇 ホンダ
  - ⑥ロバーツJr. ヤマハ
  - ⑦バイル ヤマハ
- (250)
- ①ピアッツ アプリリア
  - ②沼田健保 ホンダ
  - ③加藤大治郎 (125)
  - ④徳留真樹 ホンダ
  - ⑤青木治親 ホンダ
  - ⑥上田昇 ホンダ
- 第4戦/スペイン(5月12日)
- (500)
- ①ドゥーハン ホンダ
  - ②カタローラ ホンダ
  - ③岡田忠之 ホンダ
  - ④カビロッシ ヤマハ
  - ⑤ロバーツJr. ヤマハ
  - ⑦バイル ヤマハ
- (250)
- ①ピアッツ アプリリア
  - ②原田哲也 ヤマハ
  - ③フォルドマン ホンダ
- (125)
- ①青木治親 ホンダ
  - ②アルツァモラー ホンダ
  - ③上田昇 ホンダ
  - ④加藤義昌 ヤマハ
- (WGP・MX250)
- 第3戦/ドイツ(4月14日)
- (ヒート1)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②エバーツ ホンダ
  - ③キオーデイ ヤマハ
  - ④バルトリーニ ヤマハ
- (WSB)
- 第1戦/サンマリノ(4月14日)
- (ヒート1)
- ①コシンスキー ドゥッカティ
  - ②コルサー ドゥッカティ
  - ③キリ ドゥッカティ
  - ④吉川和多留 ヤマハ

### 第3戦/日本(4月21日)

- (500)
  - ①阿部典史 ヤマハ
  - ②クリビール ホンダ
  - ③ラッセル スズキ
  - ④バイル ヤマハ
- (250)
- ①ピアッツ アプリリア
  - ②沼田健保 ホンダ
  - ③加藤大治郎 (125)
  - ④徳留真樹 ホンダ
  - ⑤青木治親 ホンダ
  - ⑥上田昇 ホンダ
- 第4戦/スเปน(5月12日)
- (500)
- ①ドゥーハン ホンダ
  - ②カタローラ ホンダ
  - ③岡田忠之 ホンダ
  - ④カビロッシ ヤマハ
  - ⑤ロバーツJr. ヤマハ
  - ⑦バイル ヤマハ
- (250)
- ①ピアッツ アプリリア
  - ②原田哲也 ヤマハ
  - ③フォルドマン ホンダ
- (125)
- ①青木治親 ホンダ
  - ②アルツァモラー ホンダ
  - ③上田昇 ホンダ
  - ④加藤義昌 ヤマハ
- (WGP・MX250)
- 第3戦/ドイツ(4月14日)
- (ヒート1)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②エバーツ ホンダ
  - ③キリ ドゥッカティ
  - ④吉川和多留 ヤマハ

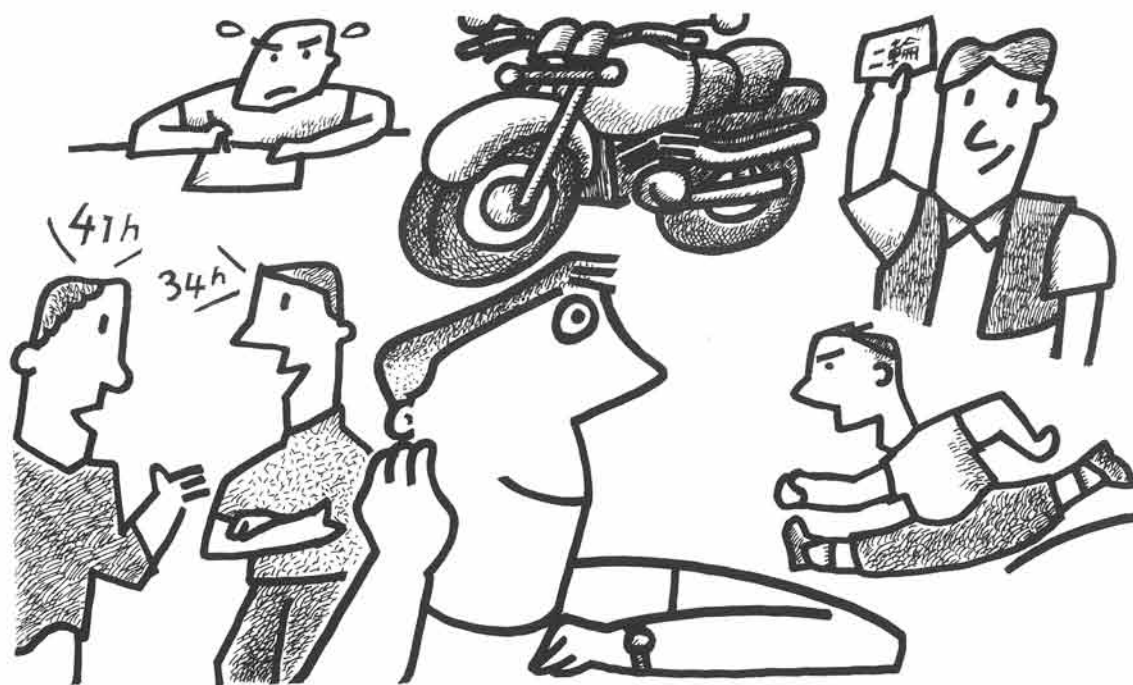
### ③デマリア

- ヤマハ
  - ⑦バルトリーニ ヤマハ
- (ヒート2)
- ①ポーランド カワサキ
  - ②ベルブーツ スズキ
  - ③デウィット スズキ
  - ⑦バルトリーニ ヤマハ
- 第4戦/ポーランド(4月21日)
- (ヒート1)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②ポーランド カワサキ
  - ③デマリア ヤマハ
  - ⑦バルトリーニ ヤマハ
- (ヒート2)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②ペイラー ホンダ
  - ③ポーランド カワサキ
  - ④デマリア ヤマハ
- 第5戦/イタリア(5月5日)
- (ヒート1)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②エバーツ ホンダ
  - ③デマリア ヤマハ
  - ⑥バルトリーニ ヤマハ
- (ヒート2)
- ①ベルブーツ スズキ
  - ②エバーツ ホンダ
  - ③キオーデイ ヤマハ
  - ④バルトリーニ ヤマハ
- (WSB)
- 第1戦/サンマリノ(4月14日)
- (ヒート1)
- ①コシンスキー ドゥッカティ
  - ②コルサー ドゥッカティ
  - ③キリ ドゥッカティ
  - ④吉川和多留 ヤマハ

### (ヒート2)

- ①コシンスキー ドゥッカティ
  - ②コルサー ドゥッカティ
  - ③キリ ドゥッカティ
  - ⑦エドワーズ ヤマハ
- 第2戦/イギリス(4月28日)
- (ヒート1)
- ①コルサー ドゥッカティ
  - ②クラファー ホンダ
  - ③ゴバード カワサキ
  - ⑥エドワーズ ヤマハ
  - ⑨吉川和多留 ヤマハ
- (ヒート2)
- ①コルサー ドゥッカティ
  - ②スライト ホンダ
  - ③ゴバード カワサキ
  - ④エドワーズ ヤマハ
- 第3戦/ドイツ(5月12日)
- (ヒート1)
- ①スライト ホンダ
  - ②コシンスキー ドゥッカティ
  - ③エドワーズ ヤマハ
- (ヒート2)
- ①コルサー ドゥッカティ
  - ②スライト ホンダ
  - ③コシンスキー ドゥッカティ
  - ⑤エドワーズ ヤマハ
- (FIGP)
- 第4戦/ヨーロッパ(4月28日)
- ①ビルヌーブ ウィリアムズ
  - ②シューマッハ フェラーリ
  - ③クルサード マクラーレン
- 第5戦/サンマリノ(5月5日)
- ①ヒル ウィリアムズ
  - ②シューマッハ フェラーリ
  - ③ベルガー ベネトン





今月のテーマ

## 新二輪免許 ~その2~

今月も、今秋の導入が決定している新二輪免許についての話です。先月号では全国の販売店さんの声を集めてみました。今回は改正発表を受けてのお客さまの反応を中心に探ってみました。

本題に入る前に、一つだけお断りしておきます。と言いますのは、今回のセンサーシヨナルとも言える改正について、市場は思いのほか無関心であったということ。取材をさせていだいた方のうち、改正内容について完全に理解している方はほとんどいませんでした。逆に改正することすら「知らなかった」と答えた方が大多数を占めたのです。

したがって、以下に紹介するコメントは、ほんの一握りの市場の反応であることをまずお断りしておきます。

「今回の改正で一番関心を持ったのは、二輪免許を持っている人が普通免許を取る場合、以前と較べて大幅に学科教習が免除されることです。僕は二輪も四輪も持つてますから関係ないけど、これって凄い緩和ですよ。まだ免許を持ってない弟には「いまのうちにバイクの免許を取っておいた方がいいぞ」って、入れ知恵をしてるんですよ」(19歳・専門学校生)

「大型免許が教習所で取れるようになるんですよ? えつ、実際には来年からなんですか……。それは知らなかつ

たけど、そうならたら大型取るって言うてるヤツがいっぱいいますよ。俺は……どうかな? みんなが取れば一緒に取ると思うけど」(21歳・アルバイト)

一方、現在二輪免許を持たない予備軍たちはと言うと、

「普通二輪の教習課程が34時間から41時間が増えたことを知ると」本当? じゃあ教習所のお金も高くなるんですよ? なんか損した感じするなあ」(16歳・高校生)

「でも、俺たちの仲間はみんな(バイクに)乗りたがってるから、それでも免許取るよ、きつと。SRとか結構、人気あるし」(同)

最後に、もう少し理解の深い方の声も紹介しておきましょう。

「新聞で読んだけど、今回の改正はキツくすべきところはグッと縮めて、その代わり不合理だった部分はかなり緩めていますよね。これから免許を取る人には厳しくなるけど、長い目で見ればいいことなんじゃないかな。教習課程が増えることで事故が減るのかは疑問だけど、これからはしっかりとライダーだけが大きなバイクに乗れる時代になるんじゃないですか。その証拠に、大型免許は取りやすくなってるわけですからね。いずれにしても、私はステップアップさせる考え方には賛成です」(28歳・自営業)

## 人気の原付二種125ccスクーター『CYGNUS 125』にデラックス仕様誕生 ヤマハスクーター『シグナス125D』新登場

幅広い年齢層のお客さまから平均的な人気を得ているのが特徴の『CYGNUS125(XC125)』。その余裕の走行性能と優れたコストパフォーマンス、扱い易さをそのままに、テレスコピックフロントフォーク、35W/30Wの1灯式ヘッドライト等を標準装備したデラックス仕様が新登場。代替えのお客さまが約70%を占める原付二種スクーター市場の新戦力です。上級&スポーツ志向のお客さまに、どうぞご案内下さい。

### 〈新採用の装備とセールスポイント〉

#### ■テレスコピック式フロントフォーク

インナーチューブ径33mmのテレスコピック式フロントサスペンションを採用しました。軽快なハンドリング特性を一段と引き出しています。

#### ■油圧式フロントディスクブレーキ

フロントのディスクブレーキを油圧式とし、コントロールで優れた制動力を達成しました。

#### ■35W/30Wの1灯式ヘッドライト

35W/30Wの1灯式ヘッドライトを採用。(『XC125』は25/25Wの2灯式)

#### ■ポジションランプの設定

前方ウインカーランプは5Wにて常時点灯。フラッシャー作動時はこの5W球に替わって、10W球が点滅する“ポジションランプ”を装備。優れた被視認性を実現しました。

#### ■その他

見やすい新型スピードメーター、ボディ外観にワンポイントを強調するビドロエンブレムを採用して商品性を高めました。

ヤマハスクーター『シグナス125D』

<メーカー希望小売価格>

**6月20日 新発売**

**289,000円**

\*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

カラーリング全2色

●ファインシルバー



●ブラック2



### ヤマハスクーター『シグナス125D』フィーチャーマップ

※印は、『シグナス125D』に標準装置のフィーチャー

※ポジションランプ

※ニューメーターデザイン

●ヘルメットラック

※35W/30W1灯式  
ヘッドライト

●フロントラック

※おしゃれな  
ビドロエンブレム

※テレスコピック  
フォーク

●バッグハンガ

●チュープレスタイヤ(前後)

※油圧式ディスクブレーキ

●低振動で静かな125ccエンジン

### ヤマハスクーター シグナス125D 主要諸元

●全長1860mm ●全幅670mm ●全高1075mm ●軸間距離1235mm ●シート高760mm ●最低地上高100mm ●乾燥重量104kg ●エンジン種類空冷4サイクル・SOHC2バルブ ●気筒数配列単気筒 ●総排気量124cc ●内径×行程51.5×60.0mm ●圧縮比9.8:1 ●最大出力10PS/7,500rpm ●最大トルク1.0kgf・m/6,000rpm ●キャブレター型式BS26 ●始動方式セル・キック併用式 ●点火方式C.D.I式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量1.2ℓ ●クラッチ形式乾式内括弧心式 ●変速機Vベルト式無段変速 ●燃料タンク容量7.8ℓ ●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前/後)90mm/75mm ●ブレーキ形式(前)油圧シングルディスク(後)ドラム ●タイヤサイズ(前)3.50-10 51J(後)3.50-10 51J



# ヤマハ『ニュース ギア』新登場

より快適な新聞配達業務を提供。納車の日からすぐ使える実戦仕様

優れた積載性とワンクラス上の安定した走行性が評価され、各種デリバリー業務で信頼を集める『ギア』シリーズに、新聞配達仕様の『ニュース ギア』が新登場します。年間約5万台とも言われる新聞配達業務需要でのニーズに、きめ細かな特別仕様で応えるモデルです。また、『BA50』『BA50S』についても、装備充実と使い勝手の向上でマイナーチェンジ。さらに『BA50』にはRV感覚を織り込んだ新色「グリーン」を設定。新価格とあわせ、その優れたコストパフォーマンスをどうぞお客さまにご案内ください。

## ＜『ニュース ギア』に新採用の特徴とセールスポイント＞

### ■優れた使い勝手の実現

①新聞のポスト入れ作業で便利なフットブレーキ、②坂道駐車で便利なパーキングロック、③足着き性向上を図った新形状シート、④サイドスタンドを新たに標準装備。いずれも駐停車の多い新聞配達業務のスピーディ化、効率化に直結するフィーチャーです。

### ■高い積載性の確保

①大型フロントバスケット、②新聞配達業務用リア大型キャリアを標準装備としました。

### ■多様な使用環境を配慮した親切設計

①ハンドルプロテクターの採用、②暗いときでもフロントバスケットの中身を確認できる手元灯の採用、③グリップヒーター（オプション設定）使用を配慮した発電容量アップ等を行ないました。

## ＜『BA50』の主な変更点＞

### ■各種装備の充実

①サイドスタンド、パーキングロックを標準装備、②大型リアデッキへの荷かけフックの追加、③足付き性向上を図った新形状シート、④グリップヒーター（オプション設定）使用を配慮した発電容量アップ等を行ないました。

### ■新色「グリーン」の追加

RV感覚を織り込んだ新色を設定。「ギア」ワールドの行動力をアピールします。

## ＜『BA50S』の主な変更点＞

### ■各種装備の充実

①大型リアデッキへの荷かけフックの追加、②足付き性向上を図った新形状シート、③グリップヒーター（オプション設定）仕様を配慮した発電容量アップ等を行ないました。

＜メーカー希望小売価格＞ **6月1日 新発売**

ニュース ギア BA50N	199,000円
ギア BA50	189,000円 (グリーンは195,000円)
ギア BA50S	199,000円

\*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

### カラーリング

- ライトグレースリッド4
- ブルーイッシュブラックカクテル (グリーン/『BA50』のみ)



BA50N●ライトグレースリッド4



BA50●ブルーイッシュブラックカクテル



BA50S  
●ライトグレースリッド4

## ヤマハ「ギア」「ニュース ギア」主要諸元

[ ]内はBA50S、[ ]内はBA50N

- 全長1850mm [1860mm] ●全幅650mm [735mm] ●全高1035mm [1075mm] ●軸間距離1270mm ●シート高720mm ●最低地上高90mm ●乾燥重量80kg [84kg] [87kg]
- エンジン種類空冷 2サイクル・ピストンリードバルブ ●気筒数配列単気筒 ●総排気量49cc ●内径×行程40.0×39.2mm ●圧縮比7.1:1 ●最大出力5.0ps [6.500rpm] ●最大トルク0.57kgf・m/6,000rpm ●キャブレター型式Y14P ●始動方式セル・キック併用式 ●点火方式C.D.I 式 ●潤滑方式分離給油 ●オイル容量1.4ℓ ●クラッチ形式乾式内払通心式 ●変速機Vベルト式無段変速 ●燃料タンク容量9ℓ ●緩衝方式(前)オイルダンパー、コイルスプリング(後)オイルダンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前/後)76mm/68mm ●ブレーキ形式(前)ドラム(後)ドラム ●タイヤサイズ(前)90/90-12 4J (後)110/90-10 5J



# New Model TOW MAN

6月1日発売

<メーカー希望小売価格>

T50 155,000円  
T50D 170,000円  
T50ED 183,000円

\*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。



T50D

## ヤマハビジネス「タウンメイト」 〔T50〕〔T50D〕〔T50ED〕

30Wヘッドライト新採用、グラフィック一新でグレードアップ

静で粘り強い4サイクルエンジン、メンテナンスフリーのシャフトドライブ機構、そして優れたランニングコストで広く認められている「タウンメイト」50ccの3モデルがマイナーチェンジ。ニューグラフィックで登場します。

### <主な変更点>

#### ■30Wのヘッドライト

ヘッドライトを従来の25W/25Wから30W/30Wへと大容量化しました。また、「T50」「T50D」については従来の6V仕様から、「T50ED」同様に12V仕様としました。

#### ■ニューグラフィックの採用

シート下からサイドカバーのグラフィック一新を図りました。

#### カラーリング

- T50 : アロマグリーン
- T50D : ニューハイスパークルグリーン
- T50ED : ニューハイスパークルグリーン



V80D●カメラグリーン

## ヤマハビジネス 「V80Dメイト」「ニュースメイト80」

小型MFバッテリーを採用

2サイクル空冷80CCエンジンによるかぶりよい走行力とタフネスさに信頼を集めるヤマハビジネス「V80Dメイト」「ニュースメイト80」。こちらもMFバッテリー採用など装備充実でラインナップ強化を図りました。

### <主な変更点>

#### ■小型MFバッテリーの採用

軽量・小型MFバッテリーを採用しました。

#### ■ニューグラフィックの採用

シート下からサイドカバーのグラフィック一新を図りました。



ニュースメイト80

6月1日発売

<メーカー希望小売価格>

V80Dメイト 171,000円  
ニュースメイト80 182,000円

\*北海道、沖縄及び一部地域を除く。価格には保険料、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

#### カラーリング

- V80D: カメラグリーン、エンタイスターダークブルー
- ニュースメイト80: サムソンブルー

### 限定商品

色が変わるインフィニットカラーの採用で  
ファッション性を大幅に向上

ヤマハヘルメット '96マールボロ ヤマハ

モータースポーツマインドあふれるグラフィックで人気のヤマハヘルメット「マールボロ ヤマハ」に、ヘルメット業界で初めてインフィニットカラー(光線の当たり方によって色が変わる特殊塗料)を採用した'96ニューモデルが登場。



6月25日  
新発売

【'96マールボロヤマハ商品概要】

●特殊塗料インフィニットカラー(パープル部分) ●スポーツマインドをかき立てるアグレッシブなグラフィック ●帽体内の熱を排出するダイレクトベンチレーションを採用 ●ガラス繊維で強化されたFRP帽体 ●デフロスター効果を高めるアコベンチレーション

¥23,000

●規格: JIS-C種 ●サイズ: M、L、XL ●カラー: 白/赤、黒/赤

### BA50N OPTION

- ① バスケットカバー ¥2,500  
大切な新聞を風雨から守る強化糸入り半透明ビニール袋。
- ② グリップヒーター ¥14,000  
寒い日の配達を快適にするヒーター。バッテリーの発電容量も向上。
- ③ ウィンドシールド ¥8,500  
冷たい風をシャットアウト。キスのつきにくいポリカーボネイト製。
- ④ インナーポケット ¥1,900  
ちょっとした小物の収納に便利なポケット。左右2個の取り付けも可能。



### BA50 OPTION

- ① フロントグリル ¥8,800
- ② グリップヒーター ¥14,000
- ③ ウィンドシールド ¥8,500
- ④ インナーポケット ¥1,900
- ⑤ 大型リアキャリア ¥6,900

【その他のオプション】

- 大型リアボックス(グリーン) ¥28,000



### BA50S OPTION

- ① フロントバスケット ¥5,800
  - ② ハンドルカバー ¥2,900
  - ③ 大型リアボックス(ホワイト) ¥24,000
- 【その他のオプション】
- 大型リアバスケット ¥4,500
  - タイヤチェーン(フロント) ¥6,900
  - タイヤチェーン(リア) ¥6,800



※価格はメーカー希望小売価格(取り付け工賃・消費税は含まれません)



# YAMAHA *AD* CLIPS

すみからすみまでアメリカンウェイ  
ブラック&ブラックに身を固め  
DRAG STARがいま走り出す

**Watch me now!**  
ローダウンアメリカンドラッグスター専用。スチールフレーム、エンジン、サスペンション、ボディデザイン、ホイール、タイヤ、ヘッドライト、メーター、クラッシュバリア、ブラックのボディ、グロウインジグロウ、おまじないのサイレンジャー、います。

Model Type: DR1100 Engine Type: Cooled 1200cc V-Twin Displacement: 99cc Max Power: 33hp (7,000rpm) Max Torque: 3.2kg-m (4,000rpm) Transmission: 5 speed chain Dry weight: 204kg Body colouring: Wild Orange Metallic, Black/Black/Black, Yamaha Black/Black/Black

●ドラッグスターは、ドラッグスター専用パーツを標準装備しています。

見る見られるべし。バイクでひろがるいい仲間。バイクはいつも、あつて。

YES!! 初年度年会費すべて無料!

週末のバイク

YAMAHA ヤマハ発動機株式会社

¥629,000

この広告は、4月下旬発売以降の二輪専門各誌、ヤング雑誌に掲載しています

ロー&ロング。ドッシリと地をほうように低く構えたスタイルは、まさしくアメリカの流儀だ。しかし、それだけではない。トルクフルなエンジン、ギリリ輝くクロームシルバーパーツ、流麗なラインを描くボディデザインとディテール。そういう、ドラッグスターのすべてがアメリカンウェイを主張する。オレンジ、ブラック&シルバー、ブラック&ブラック。3つの個性をまとめて“ローダウンアメリカン”ドラッグスターが走り出した。

今回のドラッグスター専門誌広告は、3つのカラーバリエーションのうち、もっともシブイ迫力を漂わせるブラック&ブラック。都会の喧噪を離れてナイトクルージング……、といったイメージでちょっとワイルドにキメてみました。暗い夜空に明るいイルミネーションがポッカリ浮かび、ハイコントラストなドラッグスターの車体をひときわシックに引き立てています。ラフなストリートファッションがよく似合う、いまだきの若者たちがターゲット。お客さまのイメージをふくらませるワンシーンとしてご案内ください。